

第12回PI外環沿線協議会 傍聴者アンケート

(一部を除き、出されたアンケートをそのまま事務局でワープロ化したものです。よって、文章がつかないところや、判読不明な文字のところも有ります。)

1. 本日のPI外環沿線協議会に関するご意見・ご感想
2. 外環についての日頃のお考え、思っていること
3. その他、協議員や事務局などに伝えたいこと

『世田谷区成城在住、40代、男性』

1について

- ・協議員は「大深度」報道に対し、遺憾表明するだけでなく、何故いきなり大臣と知事がそのように発言したのか追求すべき。(さんが少しおっしゃってましたが無視されました)
- ・あと、司会は資料の説明などは不要。事前配付しろ。会議時間も2時間を守るのは大切だが、場合によっては多少ずれこんでも決めるべきものは決めるべき。

2について

- ・大深度地下案は、たたき台として示された内容と全く違うことは遺憾である。
- ・大深度地下で無補償となることはとんでもない。(決して計画に反対でない地権者まで無補償となるのが許されるのか)
- ・計画策定にあたり、地権者の意向をもっと聞くべきである。
- ・たたき台で示された地下案(大深度でない)で早急に調整の努力をせよ。
- ・外環は、今、現在最も必要な道路。だが、100年後に必要とはとても思えない(人口や物流の減少のため)。役所は自分の仕事を増やしたくて仕方がないのだから、その点はあきらめている。
- ・コストの面で地権者を犠牲にして大深度などとふざけたことを言うのであれば、工事の施工を海外の施工者にまかせる等、真剣に考えよ。単なる土建屋政治の延長が高コストの本質。
- ・もし、それでも「大深度」などと言うのなら、既に公用地として買収済みの環八地下にでも持っているのが、予定地地権者に対する礼儀だろう。(もちろん、新たに予定地に含まれてしまう私有地地権者には正当な補償の上)

『杉並区上井草在住、年齢未記入、男性』

1について

- ・現行制度では住民の賛成を必要とするが、実際には住民に賛否を表明する機会が与えられていない。(平成13年12月12日あけぼの作業所説明会 課長)
- ・扇国土交通相が外環道路の必要性の有無を原点に戻り徹底的に議論してほしいと表明したが、先日、扇国土交通相が都と合意済の大深度地下利用構想について議論してほしいと表明した。

2について

- ・運転する人ならば当然の結論として外郭環状道路を大泉・用賀で開通させても接続部分に大渋滞を生じさせるだけで渋滞解消にならない。首都高の環状道路は完成しましたが大渋滞が毎日生じています。道路を接続すれば接続部分に渋滞を移動させるだけで東名、中央高、甲州、青梅街道の渋滞を増加させるだけ。

3について

- ・インターチェンジ・換気塔設置のため開削BOX工法着手時に巨大ポンプを24時間稼働させるため瞬時に地下水脈の枯渇を生じる、環8の井荻トンネルですら近隣の井戸を枯渇させた。現在の土木技術では開削BOX工法による地下水脈破壊は避けられない。しかし都は地下水等にできるだけ配慮して工事すると表明している。都の担当者に水脈破壊によるヒートアイランド化の損害賠償額を保険会社に検討させている旨を通知した。

『文京区向丘在住、20代、男性』

1 について

- ・ 扇大臣、石原知事の発言は行き過ぎだと思う。
- ・ 2 時間の議論の時間が有効に使われていない。

2 について

- ・ 市長は賛成派が多い。行政主導で外環作ってしまうんだろうなあ。
- ・ 全然合意形成になっていない。

3 について

- ・ 協議員 徒労感があると思いますが、頑張ってください。
- 事務局 生産性のない議論のために面倒な仕事を引き受けておられますのは評価します。

『港区三田在住、20代、男性』

1 について

- ・ 各地域の人々の主張は良く分かりますが、議論の基本として、自分が何を前提として（経済面か、文化面か、もしくは外環をつくる、というものが）発言しているのかを、発言中に見失っている感がありました。冷静をお願いします。

2 について

- ・ 自分の住んでいる地域に直接は関係がないのですが、仮に自分の住居が対象となれば、気楽な方に流れていく気がします。どこでも住めば都だと思ってますので。フキンシンですみません。

3 について

- ・ 司会の方、もっと強引な面があっても大丈夫な気がします。頑張ってください。

『練馬区石神井台在住、30代、男性』

1 について

- ・ 私は、住民だけがなぜPI協議会の人々が選ばれた理由等は知らない。近所の人も同様である。まったく住民の意図とはなれたところからPI会議が始まり、すすんでいる。
- ・ 住民が町を作るためにも（道路公団やゼネコンではなく）PI会議は重要。PI会議に出席している人には頭が下がる。
- ・ まったく住民が意見もいえない（聞いてもらえない）現行のシステムは廃すべき。
- ・ 会議をしているのに政治家が発言する。議会もしくは住民をぐる回している。

2 について

- ・ 36年間もほったらかしにした国、都の責任もあきらかにして関係者は遑って処分すべき。当時住民の反対でながれたことはいたしかたないが、そのままにして住民が不利益をこうむった事はその責任を追求すべき。
- ・ 規制を廃してもいまさら建てかえても、売っても大赤字である賠償すべき。
- ・ 関西新空港などまったく実現できないプランをゼネコン、国土庁がおし進めしずんでいる。またですか。

3 について

- ・ ミーティング・マネジメントの中に『板書』という方法があります。このような会議は多様な立場の人々が意見を言うために、会議の進行が不安定になります。事務局の後ろにあるスクリーンを有効に使うべきです。書いたものを見るために重複した意見や進行を確認できます。
- ・ 議長である人々の議事の進行に問題があります。会議全員に不信感があるため進まないのでは。何度言っている議事の改善策もとりにいれてない。この会議は国交省の茶番劇である。

『杉並区善福寺在住、40代、女性』

2について

- ・大深度トンネル案はある程度評価できると思います。が、アクアラインまでつながるというこの計画には、基本的に賛成できません。環境が悪化するのには、目に見えています。
- ・燃料電池自動車等次世代自動車が普及すれば、今のままの道路網でも対応できると思うのは、素人考えでしょうか。高速道路建設よりも物流の拠点整備等の方が先ではないでしょうか。
- ・昭和36年度に作られた外環道路調査図面というのを初めて見ましたが、東京ルート建設の場合、西端のCルート（関前浄水場を通過）も再度検討いただけないのでしょうか。複数ルート分散すれば、環境への影響もちがうと思います。地下化した場合にも、地上部分への影響を十分考慮してほしい。
- ・ルート不適切という意味で、再度、都市計画の廃止をお願いしたい。

『横浜市南区別所在住、70代、男性』

1について

- ・国と都との分担がはっきりしていない。国の責任者も出席すべきだ。

2について

- ・実勢に車を走らせる階層の人達の見解も取り入れるべきだ。

3について

- ・新聞には国と都の大臣が補償などの問題が解消されと出ていたがこの発言があったとすれば時期早尚だ。

『武蔵野市吉祥寺東町在住、50代、女性』

1について

- ・都知事、大臣の発言に対する抗議は当然なので、本日進行しなかったのはいたしかたないと思います。司会者はもう少し発言の整理をしてほしい。

3について

- ・アンケートはP I協議会が実施すべきだと思います。今回配布したものは、撤回すべきではないでしょうか。公に配布する資料（ジャーナルなど）等もP Iで集中してすべきではないかと思います。

『武蔵野市吉祥寺南町在住、40代、女性』

1について

- ・まず先日の新聞報等、大臣・知事発言に対する国・都の行政担当局長から釈明発言があったのは、いかに協議会をないがしろにしたものであるか、又民主主義的行為であったかを自ら認めたこと、そう思います。私たち住民もP I協議会に期待しているだけに、メンバー皆様同様裏切られたように思いました。これで今後釈明したから、検討すべき素材だった、というごまかしで本当にすすめていけるのでしょうか。おおいに疑問です。又、討論内容もそれぞれの方が言いたいことを発言していらして、論議がまるでかみあっていないと思いました。

2について

- ・基本的に外環はいらないと思います。まず計画ありき。どうせ作るんだらう、作られるならば、といった論議のすすめ方ではせっかくP Iをつくった意味がないと思います。何のためのP Iですか？協議員さん自身がP Iを何のため、何を目的として集まっているかあまりに認識がちがいます。

3について

- ・話の討論聞いていて、この幼稚な会議運営は何なのか、はっきりいって小学生のクラス会でももっと話し合うべきテーマに添ってすすめられるだらうに・・・とがっかりしています。“運営懇談会ですすすめ方を確認したはず”と抗議されたのはもっとも！！司会者はいたずらに時間つぶししているような気もしました。ひょっとしてP I協議会が軽視されても仕方ないもの、まとまらないのが当たり前、とさせるのがねらいですか？・・・と意地悪言いたくもなりました。

『市川市真間在住、50代、男性』

1について

- ・なぜ、この時期に「大深度案」なるものが出てきたのかという、きちんとした説明ないし釈明を求めべきだったと思います。新聞報道では6月に国幹審を予定しているとされています。外環西側区間を予定線から基本計画路線に「格上げ」したいと行政側では考えているのではないのでしょうか。

2について

- ・交通対策は道路だけでは解決できません。外環が仮に多少とも交通緩和に役立ったとしても、他の施策との比較、(費用対効果など)が必要です。幅広い総合的な議論が必要です。

3について

- ・協議員提出資料中、新都計法施行を1968年(S48)とされていますが、これは1969年の誤り、1968年に法律としては成立していましたが、施行には1年間の経過期間を置きました。この間に第2次の全総に含まれた国幹審を中心とする全国の主要高速道を旧法で都市計画決定しています。(これは重要なこと)

『大田区千束在住、20代、男性』

1について

- ・ホワイトボード、及いは今、議題に挙がっている事を書きとめスクリーンに写し出すなりして、話が宙に舞わないよう工夫すべき。司会も強いてそう努めるべきです。

3について

- ・みなさんが、御個人のお立場、ご意見があるのは分かりますが、自分が今、言いたい事だけでも話し合いになりません。議題に挙がっている事以外は発言を差しひかえるよう、背景の説明をつらつらと述べることを止めるよう、皆で申し合わせをし、協力するべきでしょう。

『小平市上水南町在住、70代、男性』

1について

- ・練馬の方が基本的な必要論をやらずに、ICなど構造論の各論に向くのはまずい。司会も論議を本論にのせるように進行してほしい。
- ・扇・石原発言は非常識。PIつぶしではないか。

2について

- ・必要論で行政側から明らかにしてほしいこと。

1. 基礎データ

各高速間の出入り交通量(日) 東名 東北

現状と外環供用後の各高速間の交通流

東名 東北は東名 - 外環 - 東北か東名 - 首都高 - 東北、東名 - 湾岸 - 中環 - 東北

2. 影響について

費用 - 建設費とランニングコスト

損失 - 農地・山林等の買収による生産表失額

被害と補償(健康被害、生活被害に対する経年補償)

『杉並区善福寺在住、40代、男性』

1について

- ・外環道路に限らず、高速道路も、もう必要ないと思う。外環道路を作る予算でもっと福祉にお金をかけてほしい。

2について

- ・大深度利用法で作ったとしても、そこに建っている建物がかたむいて、ほしょうは国土交通省ならびに東京都は責任を持つのかどうか。

3について

- ・有識者だけの意見だけで一般の傍聴者の意見ももっと話を聞く方がいいと思う。次回もPI協議会があればぜひ参加したいと思います。

『三鷹市 西新宿在住、40代、男性』

1 について

- ・大深度かつインター無し案で行ったら、堀割式部分はなくなるのですか？

2 について

- ・大深度かつインター無し案の場合、三鷹は瀬戸大橋の橋げたにされた島と同じになってしまい、利便性は全く得られず、ジャンクションや大深度トンネルの排気ガスだけ甘受しなければならない状況になります。港区等の再開発地域のNY化のために、武蔵野地域に車公害を押しつけられるのはゴメンです。こんな道路、三鷹は要りません。

3 について

- ・大泉や調布まで行かなければ乗れない道路なんか要りません。NY気分を味わいたい人は渋滞と排ガスを楽しんで下さい。渋滞を含めた都心生活が好きな人が都心に住んでいるんですから、そこから発生するデメリットも引き受けていただきたい。三鷹は瀬戸内の小島の二の舞にはなりません。やるならテロで対抗します。
- ・ 協議員は本当に地元の利益を考えてるのか。売国奴みたいなことを言ってるんじゃないよ！インター無しで通過だけ認めて何の意味があんの？
- ・ さん17:00~では駄目！19:00じゃないと傍聴に来れない。

『西東京市新町在住、60代、男性』

1 について

- ・資料説明に時間をとられ、突っ込んだ議論になかなか入らない、進め方がまどこしい。基本的に外環の必要性の議論を始めるべきだ。

2 について

- ・外環は早急に建設すべきであると考えます。そのための情報公開、シンポなども積極的に行って下さい。そして国交省/都庁のHPにもっと情報を掲載して下さい。

3 について

- ・国土交通省外環工事事務所のHPにPI協議会の開催日程をけいさいして下さい。毎回外環事務所あるいは都庁にE-mailで問い合わせしている次第ですので宜しく。

『武蔵野市吉祥寺南町在住、60代、女性』

1 について

- ・新聞で扇大臣、石原知事の発表を読んで、PIをやっている最中にこれは何だと思いました。いただいた資料で、扇大臣・石原知事の発言のいいかげんさと新聞報道のいいかげんさが重なったものと理解しました。困ったことです。迷惑です。

2 について

- ・虚言を呈しても、外環道路計画をすすめようとする人たち(政治家?)がいるということの中で、PIはひん死の状態。きちんとしたPIをやって下さい。

3 について

- ・PI協議会というのは、基本的に信頼関係に基づいて、誠実に、話し合うもので、意見の対立があるのは大前提のはずです。国・都の委員はどのように思って、協議会に出席しているのでしょうか。

『江東区亀戸在住、20代、男性』

1について

・本日冒頭の東京都、国交省両局長のあいさつの際、マスコミ撮影を規制しなかったのは外環PRのためなのだろうか？いっそのこと、協議会全体でも撮影を認めても良いのではないかと議論の様子を生で伝えるのは重要だと思う。

2について

・有識者委の幕引きと合わせるかのように出てきた大深法での整備案。何だか全てが仕組まれている“出来レース”のように感じてきた。PI協議会もやはり“ガス抜き”の場だったかと思うと残念である。

3について

・「PI」=パブリック・インボルブメントの意味通りに行政に住民が“巻き込まれ”つつある。本来のPIの意義「共に創る道路計画」という原点が忘れられようとしている。やはり国交省、いや日本にはPIでの合意形成なんて無理なのだろうか？ガス抜きだったら居酒屋でやってくれ！

『世田谷区喜多見在住、30代、男性』

2について

・昭和41年に流行っていた商品や、歌謡曲を調べてみて下さい。(水原ひろし、新川二郎、ザ・ピーナッツ、フランク永井、マヒナスターズ・・・)何と昔である事か？「Windows98」が今如何に古く見えるか、3年前の携帯電話ないという観点から見れば、昭和41年(1966年)なんてのは太古の昔。その大昔に死んだ筈の商品がゾンビの如く生き返ってきたのですから、現代の東京に一度死んだゴジラが戻って来たようなものでしょう。

・しかし、この『少子化』『低成長』『減速経済』『自然環境保護』といった世の中で、こんな高速道路が必要なのでしょうか？猪瀬直樹氏らによって暴かれた「土建会社-道路公団-土木官僚」つまり構造改革によって本来早く日本から一掃されるべき人たちの悪あがきなのではないのでしょうか？必要性の議論をキチンとして頂きたいです。

3について

・横浜国立大・高見沢助教授の「英国におけるパブリック・インボルブメント(PI)」活動の講座を聞いた事がある。それによれば、英国では行政側も住民側も対等の立場であり、両者の言い分や議論の内容を公平公正に吟味する第三者のPI主催者が必要という事であった。英国でも長い積み重ねと紆余曲折を経てこのようなPI活動が定着してきたとの事だった。その英国でも、PIには数年間と数百億円の国費を今でもかけていて議論には慎重を期しているという。英国では「果たしてそこに国道が必要か？」という大所高所の議論と「地元になんか影響があり、地元の人達はどう思っているのか？」という議論は切り離して、行われているとの事。(そういう点でも、有識者委員会もPI協議会も何と遅れている事か)しかし、今日本の東京で行われている「PI外環協議会」というのは一体何なのだろう？「原点に還る」と言いながら、この1月の大臣と都知事の発言は何なのか？パブリック・インボルブメントという試みを自ら不定する自殺的な事なのだという事を理解しているのでしょうか？PI協議会にも関わってまた国や都の関係者の方々はどう思っているのでしょうか。今後、PIという事をテーマに英国の学会や行政、住民運動代表者とも、連絡協議をしたいが、この日本の「PI外環沿線協議会」の有り様は、全く「国辱もの」ではありませんか。国際的にも恥ずかしい限りです。トヨタ、ホンダ、SONYは世界一流でも、行政は三流、国の恥です。今からでも遅くありません。「PIもどき外環沿線協議会」と至急名称を変えた方が良いのでは。日本の歴史に残る重要な事です。「PIをやりました」と果たして将来これで言えるのでしょうか？